

平成22年度第3四半期までの運用状況等

(平成22年4月～12月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成22年度第3四半期まで（平成22年4月～12月）の運用環境について	1
2. 平成22年度第3四半期まで（平成22年4月～12月）のポートフォリオ別の運用状況 . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
参考：用語の説明	5

1. 平成22年度第3四半期まで（平成22年4月～12月）の運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

（第1四半期）

第1四半期の国内外の株式市場は、4月は堅調であったものの、5月以降、ユーロ圏諸国の債務問題が広がったことや、米国の経済指標が低調だったことなどから世界的に株価が下落し、日経平均株価、NYダウともに年初来安値で6月末を迎えました。

（第2四半期）

第2四半期の国内外の株式は、世界経済の減速懸念などにより8月は世界的に株価が下落しました。しかしながら、9月に入り米国の経済指標が良好だったことなどを受け、世界的に株価が上昇しましたが、国内株式は、円高の進行などからやや低調に推移しました。

（第3四半期）

第3四半期は、FRBの追加金融緩和策が決定されたことや、米経済指標の改善、大型減税の延長決定などにより、外国株式は上昇しました。国内株式は、円高の進行などから10月は下落傾向となりましたが、日本株の出遅れ感や円安基調による企業業績の改善期待などから、11月～12月は上昇しました。為替は、1ドル80円台から一時84円台まで円安が進みましたが、米長期金利の上昇が一服したことなどから12月末には81円台となりました。日本の10年国債利回りは10月上旬に一時0.820%まで低下した後、12月中旬には一時1.295%まで上昇しましたが、米長期金利の上昇が一服したことなどを受け、12月末に1.120%まで低下しました。

（注）資産毎の「ベンチマーク・インデックスの推移」を4ページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

2. 平成22年度第3四半期まで(平成22年4月～12月)のポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成22年度第3四半期まで(平成22年4月～12月)の被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成22年12月末の時価総額は1,427億36百万円となり、第3四半期までの総合収益は-12億42百万円となりました。また、修正総合利回りは-0.90%となりました。

(単位:百万円、%)

資産	平成21年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 保険料・国庫補助 投下額②	計 ③(①+②)	平成22年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利回り
国内債券	92,656	2,053	94,709	96,348	67.5	1,639	1.75
国内株式	18,109	1,220	19,329	18,160	12.7	-1,169	-6.18
外国債券	6,762	602	7,364	6,612	4.6	-752	-10.30
外国株式	17,705	447	18,151	17,227	12.1	-925	-5.09
短期資産	(注)1参照 -1,234	5,659	4,425	(注)2参照 4,388	3.1	-37	-8.98
合計	133,997	9,980	143,978	142,736	100.0	-1,242	-0.90

- (注) 1. 「平成21年度末時価総額①」の短期資産にあるマイナス表示は、平成21年度決算に基づき、被保険者危険準備金ポートフォリオへの繰入を行ったためです。
 2. 平成23年分「前納納付の保険料」等の基金への集中が12月末であったことによるものです。
 3. 国内債券のうち満期保有分(基本的に50%)については、償却原価法を適用しています。
 4. 「第3四半期までの保険料・国庫補助投下額②」では、受給権者ポートフォリオ等への繰入額が除かれています。
 5. 有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替差損益等は、短期資産で整理しています。
 6. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成22年度第3四半期(平成22年10月～12月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資産	平成22年9月末 時価総額 ①	第3四半期保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成22年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利回り
国内債券	95,372	1,202	96,574	96,348	67.5	-226	-0.23
国内株式	16,855	-107	16,748	18,160	12.7	1,412	8.40
外国債券	7,237	-186	7,051	6,612	4.6	-439	-6.08
外国株式	16,377	-54	16,323	17,227	12.1	904	5.52
短期資産	176	4,228	4,404	4,388	3.1	-16	-3.14
合計	136,017	5,083	141,100	142,736	100.0	1,636	1.19

② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成22年度第3四半期まで(平成22年4月～12月)の被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成21年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③(①+②)	平成22年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	1,032	1	1,033	1,035	2	0.18
調整準備金	短期資産	958	-12	946	948	1	0.17
合 計		1,990	-11	1,979	1,982	3	0.18

(注)「第3四半期までの繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

③ 受給権者ポートフォリオ

平成22年度第3四半期まで(平成22年4月～12月)の受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成21年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③(①+②)	平成22年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	4,655	1,350	6,005	6,229	224	4.26
短期資産	87	-3	84	84	0.1	0.04
合 計	4,742	1,347	6,089	6,313	224	4.12

(注)「第3四半期までの繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれています。

④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

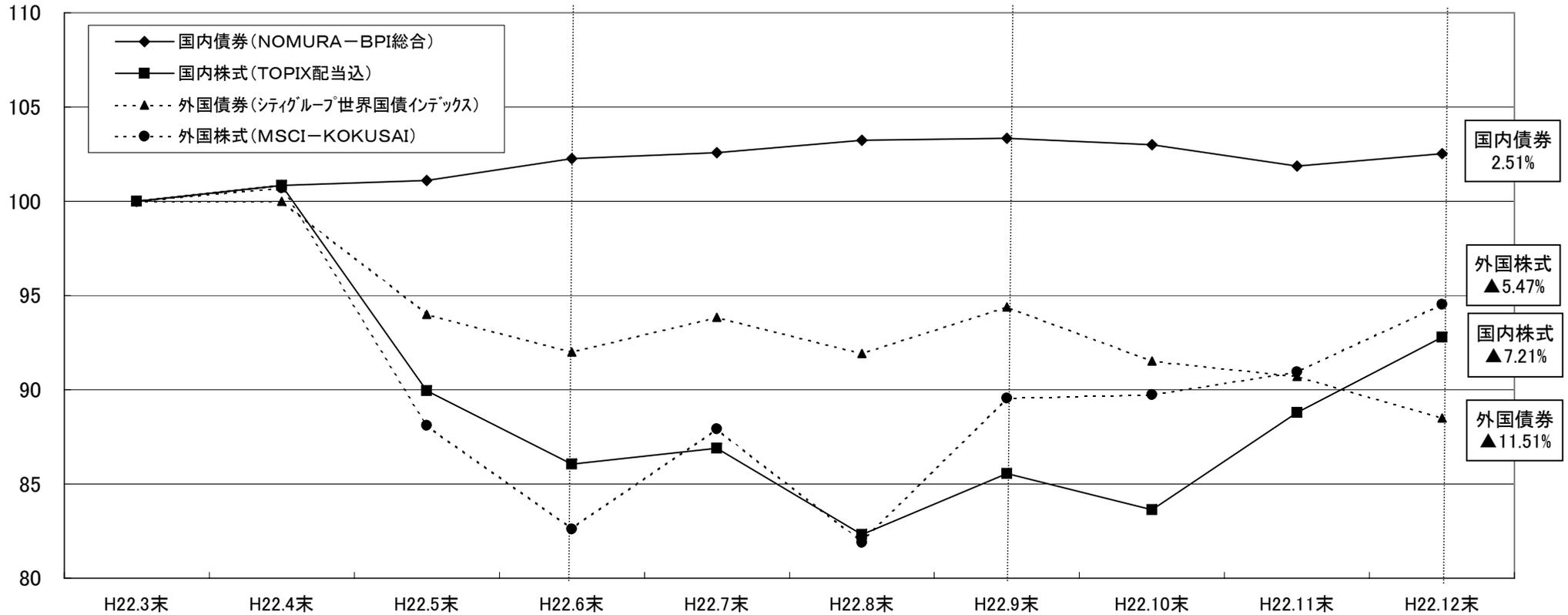
平成22年度第3四半期まで(平成22年4月～12月)の受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成21年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③(①+②)	平成22年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	415	75	491	491	0.7	0.16

(注)「第3四半期までの繰入額②」では、被保険者ポートフォリオ等からの受入額が含まれています。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H22.3末=100)



○運用環境

	平成22年3月末	平成22年6月末	平成22年9月末	平成22年12月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	1.390 %	1.081 %	0.930 %	1.120 %
(NOMURA-BPI総合)	322.689 ポイント	329.973 ポイント	333.511 ポイント	330.801 ポイント
国内株式 (日経225)	11,089.94 円	9,382.64 円	9,369.35 円	10,228.92 円
(TOPIX配当込)	1,214.95 ポイント	1,045.55 ポイント	1,039.35 ポイント	1,127.33 ポイント
外国債券 (米国10年国債利回り)	3.828 %	2.933 %	2.512 %	3.295 %
(シティグループ世界国債インデックス)	314.39 ポイント	289.26 ポイント	296.74 ポイント	278.21 ポイント
外国株式 (NYダウ)	10,856.63 ドル	9,774.02 ドル	10,788.05 ドル	11,577.51 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	1,180.683 ポイント	975.332 ポイント	1,057.362 ポイント	1,116.112 ポイント
為替レート (対ドル)	93.44 円	88.49 円	83.54 円	81.11 円
(対ユーロ)	126.43 円	108.39 円	114.05 円	108.81 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融市場調査部が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケッツ社が作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。